賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL HALL
Jesus band 社会福祉法人・学校法人 イエス団

ボランティア

Volunteer 2011 年 12 月 vol. 97

Merry Christmas & wish a Happy New Year!

2012 年は「国際協同組合年」

国連は 2012 年を「国際協同組合年」とする事を決定しました。現在、戦争や社会関係の衝突、また独裁や利益主導による搾取によって多くの貧困が生じ、その勢いが年々増加していると報じられています。また金融危機や食料危機などがそれを加速させ、貧困生活者、子ども、女性、障害者、高齢者、先住民など、弱者が虐げられ、人間の尊厳を奪われた生活を余儀なくされています。

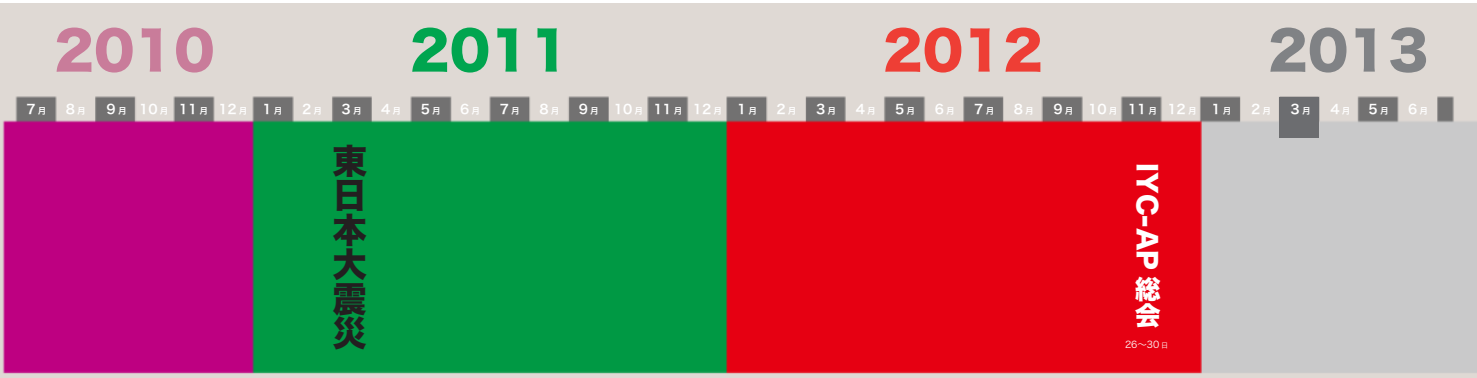
このような状況に国連は、愛と協同の精神と経済力を持った協同組合の発展や、新たな創設を進め、貧困の根絶、都市や農村での循環経済の発展、雇用の創設、差別の撤廃などを目的に、2012 年を国際協同組合年と設定したのです。

賀川豊彦たちは、100 年前にこの神戸・葺合の地で、まさに国連が今求めていることを実践してきました。その実践は、救済活動をベースに C.P.C.（Christianity, Peace, Cooperative - キリスト教・平和・協同組合）の三つといえるでしょう。この内のひとつ、協同組合運動からは、農民組合が農業協同組合へ、そして漁業協同組合や労働組合、生活協同組合、JA・JF 共済、全労済、労働金庫などになり、現代日本社会を支える大きな柱となっています。

一方、救済活動は引き続き、社会福祉法人・学校法人イエス団などとなり、この地に活動の拠点のひとつとして「賀川記念館」を設立しました。

その賀川記念館は豊彦たちの志と実践を受け継ぎ、いよいよ発展させるために、明くる 2012 年は、国連の「国際協同組合年」を基軸に、コア 100 賀川に繋がる各協同組合とともに、またみなさまとともに、実践と研究そして発信に力を入れていく所存です。

国連は、単年のテーマを一つだけではなく、複数あげています。また、10 年スパンで取り組もうと呼びかけている課題もあります。私たちはこれらを総合的に受け止め、国際的視野を持ちながら、目の前の課題に取り組んで参りたいと思います。



国際生物多様性年

文化の和解のための国際年

国際森林年
世界化学年
国際ユース年
アフリカ系の人々のための国際年

国際協同組合年

国際森林年に加えて世界化学年や国際ユース年、アフリカ系の人々のための国際年というテーマが発表されたのは、2011 年に年が明けてからでしたから 2012 年もまた、いくつかのテーマが発表されるでしょう。

～2020　国連生物多様性の10 年

～2014　ESD の10 年：国連持続可能な開発のための教育

～2012　国連識字の10 年：すべての人々に教育を

～2015　「命のための水」国際の10 年

2013～　助けあって生きる国際の10 年（未定）

第45回 賀川記念館フェスティバル

ご協力 感謝です !!
ありがとうございました

第 45 回　賀川記念館フェスティバルにご参加、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。
建て替えで休止し、昨年から再開しましたフェスティバル（バザー）ですが、大きな事故、けがなく無事終えることができました。
600 名の方々にご参加いただきました。当日お手伝いをいただいたみなさん、ステージに参加して下さったみなさん、のみの市に寄贈いただいたみなさん、パンフレットの作成、広告協賛にご協力いただいたみなさん、そして参加していただいたみなさん、本当にありがとうございました。

賀川記念館の沿革に「１９６３年賀川記念館完成のあと、１９６５年地域との交流と事業資金協力のため、地域の祭りとしてバザーを開催・・・」とあります。隣保館として地域福祉を推進していくための資金づくりはもちろんですが、「地域との交流」「地域の祭り」としての役割を当時から目的とし、継続してきた歴史が窺えます。

これからも地域のみなさんの交流の場として、楽しいフェスティバル（バザー）を 50 回、100 回と続けていきたいと願っています。どうぞよろしくお願いします。

賀川記念館フェスティバル実行委員会

ステージでの様子：上から、太極拳（なかよし太極拳）、オカリナ演奏（オカリーナ・アミカ）、韓国舞踊

東日本大震災からの復興を支えよう

宮古ショップ

協力：西宮ワイズメンズクラブ

賀川記念館フェスティバルでの宮古ショップ

岩手県宮古市周辺の福祉施設でつくられている製品をお届けする「宮古ショップ」をオープンしています。三陸沿岸は水産関連企業が壊滅的な打撃を受け、そのしわ寄せが福祉施設に及んでいます。ただでさえ受注が少なかったところに大震災が起こったのですから、事態は深刻です。

賀川記念館４階のミュージアムで直接販売するコーナーを作りました。みなさまの施設やバザーで、そのほかのイベントなどで、ぜひ、「宮古ショップ」を開いていただけませんか？ご注文、お問い合わせは賀川記念館までご連絡ください。

次の 6 団体のみなさま方に委託販売をお引き受けいただきました。販売合計 272,840 円は、「宮古いきいきフェア実行委員会」に全額送金しております。ご協力に感謝申し上げます。

10 月 10 日（祝）	第４回ふれあいネットワークフェスティバル（担当：西宮ワイズメンズクラブ）	26,170 円
10 月 16 日（日）	西宮 YMCA カーニバル	29,850 円
10 月 16 日（日）	西神戸 YMCA　ワイワイまつり	17,260 円
11 月　3 日（祝）	甲子園二葉幼稚園バザー	51,010 円
11 月　3 日（祝）	一麦保育園バザー	40,000 円
11 月　3 日（祝）	須磨教会バザー	49,320 円
11 月　6 日（日）	賀川記念館	42,420 円
11 月 27 日（日）	神戸雲内教会バザー	16,810 円
	販売合計	272,840 円

総合研究所プログラムの報告と予告

リーダーシップ養成研修会

講師：長尾文雄氏

福祉や教育の現場で児童、障がい者、障がい児、高齢者の支えとなり、見守っていくことを日々実践していくなかで、さまざまなことを体験し、考え、悩み、仕事をされている方々、とりわけリーダーとしてチームを率いて、日々頑張っておられる方々が集い、計５回の連続研修会を行いました。

① ９月 24 日（土）「自分を知る、相手を知る」
②10 月 15 日（土）「チーム運営の仕組みを理解する」
③10 月 29 日（土）「相手を聴く・自分を聴く」
④11 月 12 日（土）「自分を伝える」
⑤12 月　３日（土）「職場を本当のチームにする」

この研修は、長尾文雄氏（フリーランス、大阪女学院大学・短大講師）を講師にお迎えし、対人援助職としての基本的な考え方や態度、相手も自分も大切にする関係づくり、そして仲間とのチームづくりやチーム運営などについての学びを参加者それぞれがワークし、考え、学び、理解していくことができました。

参加者１７名は、少人数でワークを中心に進めていく中で、参加者同士がいろいろなこと理解、共感しあえ、最後にはとても仲良くなっていました。少し大きく、強くなって現場にかえって行ってくれたと思います。またいつか第２回を行いたいと思います。

現代社会とキリスト教

講師：野尻武敏氏

ローマ帝国がキリスト教を国教とし、ローマ帝国の拡大に連れてキリスト教がヨーロッパ全域にひろがって行き、そして、多くの国で国教となり、ローマ法王のもとに社会秩序が形成されて来ました。そして近代化が進む中で国民国家の形成とカトリックの関係、資本主義とプロテスタンチズム、市民革命とキリスト教等への変化についての解説が有り、近代化とキリスト教についての関係が明らかにされました。そして、次に近代文明とキリスト教の関係があきらかにされていきます。聞いている参加者が成る程そうだったのかと目から鱗の落ちるような解説に、参加者の知的昂奮が伝わってくるような講義が続いていきます。そして近代文明へ。

講義はここで時間切れとなり、参加者からの熱烈な要望に応えて、2012 年 1 月 28 日 PM3:00 から「野尻塾」として行うことになりました。キリスト教と現代社会がどのような関係を持つのかが明らかにされて行きます。是非ご期待を頂いてご参加ください。

野尻塾

「現代社会とキリスト教」

講師 **野尻武敏** コープこうべ協同学苑長

2012 年 1 月 28 日（土）15時より

1/28

日本基督教団 神戸イエス団教会

神戸イエス団教会に今年の秋 9 月に赴任しました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

クラウディア・ジュノン・山本　宣教師

平安。わたしはクラウディア・ジュノン・山本です。米国合同メソジスト教会の牧師で、神戸イエス団教会へ遣わされた宣教師です。今年の秋 9 月に神戸へやってきました。現在、上内鏡子牧師と共に働いています。わたしは米国北カリフォルニア出身で、ハワイ州オアフ島で長く牧会(牧師の仕事の意)をしていました。過去19年間は、東京に住み、西東京ユニオン教会で牧会をし、早稲田にある日本キリスト教協議会において渉外担当で、会報の英語版を編集していました。今年の 3 月 11 日以来、わたしは東北の救援活動に深く関わっています。自称活動家のわたしは、平和や正義の問題に対して大変関心があります。　神戸イエス団教会に来ることができてとてもうれしいです。ここは賀川記念館という建物の 4 階にあります。賀川豊彦が始めた教会であるからです。そして、賀川牧師は、教会と施設の両方の働きを通して、平和ということを考えられたと知りました。

この 2 ヶ月ほどの間に、わたしは賀川記念館にある神戸イエス団教会で沢山のことに関わりました。その中には天国屋カフェでご飯を作ってお昼を提供することも含まれています。9 月には、賀川記念館の子どもたちと一緒に布引の滝や市が原の河原でハイキングとバーベキューを楽しみました。10 月は、ハロウィーンの学びを行い、学童保育の子どもたちと一緒に「ジャック・オ・ランタン（カボチャの提灯)」の意味を学んだり、障がい児たちと衣装をつけてお菓子を配ったりしました。「トリック　オア　トリート (お菓子くれないといたずらするぞ)」と、子どもたちは天国屋カフェにもやってきました。こんなことで、わたしたちは、こどもたちに知られるようになりました。時には、こどもが手を振りながら、「英語話す人が来た！」とわたしのことを呼び止めることもあります。

それから、西宮駅前の公園で、東北の障害者作業所の品物を販売するために、賀川記念館の子どもと出かけて行ったこともあります。神戸イエス団教会と賀川記念館は、近隣の地域をサポートするために、互いに多くの活動に励んでいます。そのうちの一つに、ナイトカフェがあります。わたしはタコスとナチョスを作って売りました。11 月、記念館の西参事に「賀川ウォーク」に連れて行ってもらいました。そこで、賀川豊彦が行った牧会的活動の歴史をたどることができました。11 月 6 日 (日)、賀川記念館フェスティバルが行われ、沢山のボランティアがお手伝いに来ました。現在では、上内牧師と共に、子どもたちにクリスマスに歌うクリスマスキャロルを練習しています。クリスマスイブの午後、わたしたちは近隣の高齢者施設や商店街にキャロリングに行く予定です。

カフェは地域にとても大切な交わりを作り出しています。安く、健康的で、家庭的な料理を提供しているからです。障がいを持つ人や様々な理由で職を持たない人には、食事チケットを発行し安い価格で食べてもらえるようにしています。カフェの目的は、お金を儲けることではなく、癒しと安らぎを備えることです。天国屋カフェは、地域がリラックスできるところで、来る人たちのニーズを担い合う場所です。その他、毎週水曜日の 6 時半には祈祷会がもたれ、ドイツ人の友達はケーキを焼いてくれます。それは、カフェでコーヒーと一緒に提供しています。アメリカ人の手品師もきて、マジックショーをしてくれます。カフェでは、2 人のフィリピン人の女性が料理を手伝ってくれます。上内牧師は、フィリピンで 10 年間宣教師として働いた経験があり、フィリピン語が流暢に話せます。だから、フィリピン人の人たちもカフェにやって来ることができるのです。こうやって、上内牧師は、カフェ全体を見守る役割を担っています。天国屋カフェは、どんどん国際的になっているようです。

一番印象に残っていることは、地域の人々の強い心のつながりです。これは、きっと賀川豊彦牧師が目標にしていたことの一つでしょう。彼は、一生をすべて人々のための牧会と考えたのではないでしょうか。今も、賀川の牧会的働きと夢は、賀川記念館と神戸イエス団教会によって引き継がれています。賀川の精神を大切にして共に働きましょう。今後も、共に学び、一員として仕事を続けていきたいです。皆さん、ボランティアとして、また、支援者として、祈りと行動を共にしましょう。

クラウディア・ジュノン・山本　宣教師
----------Rev. Claudia Genung-Yamamoto
（訳文　上内鏡子）

Greetings and peace! I am Claudia Genung-Yamamoto, an ordained United Methodist pastor and missionary assigned to the Kobe Jesus Band Church to work with Rev. Kyoko Kamiuchi-Cledera. I am originally from northern California and also have served as a pastor on Oahu in Hawaii. The last 19 years I have lived in Tokyo but I moved to Kobe in September. In Tokyo, I was working as the pastor of West Tokyo Union Church and was the International Church Liaison and editor for the English newsletter at the National Christian Council in Japan in Waseda, Shinjuku-ku, Tokyo. As of March 11, I have been heavily involved with earthquake relief work in Tohoku as well. I am very concerned about peace and justice issues and am an activist. I am glad to be at a Kobe Jesus Band Church which meets on the 4th floor of the Kagawa Memorial Hall because this is a church founded by Toyohiko Kagawa and I see Rev. Kagawa's vision of peace carried on through various ministries of the Kobe Jesus Band Church and Kagawa Foundation.

Just in the short time that I have been involved at Kobe Jesus Band Church in Kagawa Memorial Hall, I have worked together with Pastor Kamiuchi on so many activities. Some of the activities have been cooking and serving food at the Tengokuya Café during lunch. In September, I enjoyed hiking and a BBQ with the children and youth in Kagawa Memorial Hall at Ichinohara on Mt. Rokko. In October, I told about the meaning of Halloween jack-o-lanterns to the nursery school/day care children at the chapel service, participated in a Halloween party for the children who come for the after school program, gave out candy to the children and mentally challenged childlren who dressed in Halloween costumes and came to the Tengokuya (Heaven's Cafe) among shouts of "for trick or treat! Happy Halloween!" Now I am now known to the children who wave at me sometimes as I leave and say, "there goes the English-speaking person!"

I also attended a festival in Nishinomiya Park where items made by the disabled in Tohoku were being sold by the Kagawa Memorial Hall Foundation and the Y men's group. The church and Kagawa Foundation have so many ministries together which support the local community. I have helped at the Night Café when I made tacos and nachos with other volunteers. In November, I had the opportunity to take the "Kagawa Walk" led by Nishi-san around the surrounding area to learn more about the history of Kagawa's ministry. The Kagawa Kinenkan Festival on November 5th was an impressive display of so many people of the community coming together to work for a common goal. Kyoko and I also taught Christmas carols to the after school program and we will all go Christmas caroling at the Shin' Ai Home for the elderly nearby.

The Café provides an important ministry to the local community by serving healthy, good, home cooked and inexpensive lunches. People with disabilities are given tickets at a lower discount rate as a community service. The Café's goal is not to make money but provide nurture and care. Tengokuya Café is a place for the community to relax and share their needs. A weekly Bible study is held on Wednesday evenings at 6:30 p.m. A German friend bakes cakes sometimes to serve at the Café with coffee. An American magician friend came to the cafe to do magic tricks. There are also two Filipino woman who have been helping with food preparation at the Café. Rev. Kamiuchi who overseas the cafe speaks fluent Tagalog from her ten years of living in the Philippines so is able to talk and relate to the Filipinos who come to the Cafe. It seems that Tengokuya Café is becoming more international!

What has impressed me the most has been the is a strong feeling of community which was one of the many goals of Rev. Kagawa. Rev. Kawawa ministered to people from all walks of life. His ministry and dreams are continuing on with the Kagawa Foundation and Kobe Jesus Band Church. We can all work together in the spirit of Kagawa to create a better society. I look forward to continuing to learn and be part of Kobe Jesus Band Church's ministry within the Kagawa Foundation. I invite others to join us in prayer and action as volunteers and supporters.

友愛幼児園

11 月に収穫感謝の礼拝をもち、近隣の警察署、消防署、お医者さん、郵便局・・・に子どもたちがくだものを持ってお訪ねし、「ありがとう」を伝えてきました。毎年恒例の行事ですが、みなさん笑顔で出迎えてくれて、逆にプレゼントをもらったり、お話をお聞きしたり・・、いつも地域の方々に支えられている友愛幼児園を実感します。

12 月に入ると、園はクリスマス一色になります。12 月 17 日のクリスマス・ページェントに向けて、子どもたちは一生懸命練習します。先生たちはクリスマスの意味を子どもたちに伝え、先生たちがまずページェントを子どもたちの前で行ない、本格的な練習に入ります。

また、19 日は同園（同窓会）クリスマスです。この日は友愛幼児園を卒園した子どもたちが集い、クリスマスをお祝いします。毎年 80 人くらいが参加してくれて、先生と再会、なつかしい時間を過ごします。22 日には、ごちそう（鳥の丸焼きが出ます）をいただきながら、保育園児のためのクリスマス祝会です。この日はサンタクロースが園に来てくれて、子どもたちにプレゼントを配ってくれます。今年のサンタクロースは本物（ニュージーランドの人）です。子どもたちは大喜び。

毎年の恒例ですが、クリスマスの行事に合わせて、子どもたちにクリスマスの意味を伝えることと、やさしい心、うれしい気持ちをもってクリスマスをお祝いすることを忘れず、大切にしていきたいと思っています。

西さんの豊彦講座　最終回

上：1928 年（昭和 3）小樽で行なわれた伝道会の聴衆
下：1931 年（昭和 6）アメリカ、アイオワ州での講演

豊彦の全事業を支えたのはもちろんキリスト教信仰でした。その広範多岐に亘る活躍も、つきつめればキリスト教の福音伝道そのものだったのです。国内では、1925 年百万人救霊運動、1929 年神の国運動、1933 年協同伝道、1946 年新日本建設キリスト教運動、と 4 回の大きな伝道事業をなし、海外ではアメリカ、イギリスをはじめ、北欧、中国、アジア等世界各国へも伝達。世界の多くの国の人々に神の愛を説き、魂の救済に奔走しました。

そして 1959 年 1 月「伝道者が伝道の途上で死ぬのは本望だ」といい残し、不調の身体をおして郷里徳島への伝道のため乗船しましたが、船内で倒れ、東京の自宅で静養。しかし 1960 年 4 月 23 日遂に「世界に平和を、日本に救いを」との祈りを最後に、隣人愛の実践に全力を注いだその 72 年の波乱万丈の生涯を閉じたのです。

＜終わり＞

4 回シリーズで掲載の豊彦講座も今回で最終回になりました。最後までご覧いただきありがとうございました。また、新しいシリーズをお楽しみに!!

賀川記念館参事　西 義人

上：1917 年頃のハル。
左：ハル 90 才の横顔、
松沢の家にて。

賀川ハル研究会

来年 2012 年 5 月 5 日は、豊彦の妻であり、事業の良き協力者であった賀川ハルの没後 30 年にあたります。

賀川記念館では、2012 年 5 月に賀川ハル展を開催します。

現在、賀川記念館の語り部の人たちが、豊彦の事業を支えてきたハルの活動内容を大きく 4 つに分類し、研究しています。その研究を発表する催しとして賀川ハル展を企画しています。

研究項目は次の 4 つです。

1、豊彦の大蔵大臣としての賀川ハル。
2、女流文化人としての賀川ハル。
3、豊彦の同労者としての賀川ハル。
4、賀川ハルは幸せだったか？

＊賀川記念館の語り部

賀川記念館に来られた方々に対して、賀川豊彦や彼と一緒に働いた人々のその精神や、目指した事、仕事などについて、ご自分の解釈や意見を入れながら語る事をボランティアとして行っている方々です。今回の催しはその研究の一環です。現在 17 名が活躍中です。

来年の 4 月前後に、この「ボランティア」で詳しい事をお知らせ致しますので、是非楽しみにお待ちください。

グループに分かれて研究中の語り部の皆さん。

賀川記念館の歩み

2011年

10月

1（土）コープエイシス（来館見学）
　　総合研究所講演会 「キリスト教と現代社会Ⅰ」
　　フェアトレードカフェ
8（土）生きづらさをかかえた子どもたち・不登校の
　　子どもたちについての学びの会
11（火）岡本コープ委員会（来館見学）
12（水）中央小学校（来館見学）
13（木）中央小学校（来館見学）語り部の会
　　第２回電子版賀川豊彦選集刊行委員会
14（金）中央小学校（来館見学）日本協同組合学会
　　ナイトカフェ
15（土）リーダーシップ養成研修会（第２回）
17（月）コープ人材開発
18（火）神奈川県ＪＡ（来館見学）
19（水）魚谷様
20（木）韓国総領事館（来館見学） 博愛社（来館見学）
22（土）徳島労動福祉協議会（来館見学）
24（月）イロハ塾（コープこうべ人事教育部）
29（土）中ノ島人地区権委員会（来館見学）
　　リーダーシップ゛養成研修会（第３回）
31（月）コープ人材開発

11月

4（金）韓国尚志大学（来館見学）
5（土）京滋奈良大学生協（来館見学）
6（日）第45回賀川記念館フェスティバル
10（木）尼崎医療生協（来館見学） 語り部の会
11（金）ナイトカフェ
12（土）リーダーシップ養成研修会第４回
13（日）オルガンコンサート（会場利用）
17（木）ＵＭＣ（来館見学） 名鉄観光和歌山（来館見学）
　　コープネット労働組合（来館見学）
　　フェスティバル評価会
18（金）からとコープ委員会（来館見学）
20（日）総合研究所講演会
　　「神戸の暮らしと六甲山の森林保全」
24（木）関西学院キリスト教研修センター（来館見学）
　　神戸女子大学（来館見学）
26（土）総合研究所講演会 「賀川豊彦と部落差別」
27（日）総合研究所講演会 「現代社会とキリスト教Ⅱ」
29（火）北口コープ委員会（来館見学）
　　コープやまぐち組合員理事（来館見学）

記念館ミュージアム入場者数

10月　一般54名　団体324名　行事172名　合計550名
11月　一般40名　団体212名　行事173名　合計425名

年末年始のお知らせ

賀川記念館ミュージアムは、
12月26日（月）～1月3日（火）
休館いたします。

天国屋カフェは、
12月17日（土）～1月11日（水）
休業いたします。

天国屋ナイトカフェ =16弾=
2012年 1月13日（金）17:30～

1/13

賀川記念館 賛助会から

いつも賀川記念館をお支えいただきましてありがとうございます。2011年10月から2011年12月までの報告をさせていただきます。

賛助会費	301,000円
寄付金	296,200円
真愛ホーム・友愛幼児園寄付金	10,000円
クリスマス献金	15,000円
総合計	622,200円

これからも皆様のお支えにより、さまざまな活動を行ってまいります。今後とも引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

賀川記念館賛助会ご入会のお願い

賀川記念館は、賀川豊彦献身100年を記念して、2009年12月に新たに建て替えられました。今を生きる私たちの献身拠点として、2010年4月より活動を開始いたしました。「一人は万人のために、万人は一人のために」を標語とし、「みなさんとともに生きる社会」を目指して事業を進めてまいります。ぜひ、賀川記念館賛助会へご入会くださり、記念館の働きを支えてくださいますようお願い致します。

賛助会

賀川記念館の働きを支援することを目的としています。

賛助会会費

年額は下記の通りとし、一口以上、上限はありません。
個人：一口1,000円
団体：一口10,000円
会費は年度ごとの更新とします。

賛助会員入会と退会

「賀川記念館賛助会 入会申込書」に必要事項をご記入いただき、会費を納入ください。
退会される場合は事務局までご連絡ください。

賛助会費の使途

賀川記念館の諸事業に活用いたします。

賛助会費の税控除

個人の方は、所得税にかかわる寄付金控除の対象になります。
団体の方は、法人税法により「損金算入」することができます。領収書をご希望の方はお申し出ください。

賛助会費のお振り込み方法

郵便局：01140ー8ー3721　社会福祉法人イエス団 賀川記念館
銀行：三井住友　三宮支店　普通　3253938

被爆ピアノとは 1945 年 8 月 6 日・9 日、広島・長崎に投下された原子爆弾によって傷つきながらも、廃棄を免れ人類に残された貴重なピアノです。現在、広島・長崎の原爆資料館に 3 台（収蔵品の為、演奏は不可）広島で被爆後、ご家族の転勤と合わせて、広島を離れ、現在は仙台市にある個人所有の 1 台。広島市で活動している市民団体に託された米国製が 1 台。調律師に託された 4 台の合計 9 台が確認されています。

今回のコンサートで演奏される松葉曄子さんの被爆ピアノは、東京銀座・小野楽器 HORUGEL ピアノです。1933 年松葉（旧姓佐藤）さん 8 歳の時に購入。1943 年東京音楽学校に入学するも戦局悪化の為、帰郷。医師である松葉卓郎氏と結婚。ピアノも嫁入り道具として新居に運び込まれます。1945 年長女由美子さん出産。卓郎氏が女川に赴任のため、広島市翠町の卓郎氏の実家に預けられました。

8 月 6 日原爆が投下されます。曄子さん親子は爆心地から少し離れた広島市草津に疎開していたため無事でしたが、ピアノは爆風で吹き飛ばされ、背面には無数のガラスが突き刺さり、窓に面した部分は放射線に直接晒され変色するなど大きな被害を受けました。1951 年卓郎氏の転勤と共に、被爆ピアノも東広島、東京と常に家族と一緒に運ばれます。2003 年曄子さんが仙台に転居。ピアノは背面の傷跡をそのまま残して修復され演奏可能になります。

2010 年 9 月 17 日にはニューヨークの国連本部にも出かけました。潘基文（パン・ギムン）国連事務総長の「今日は皆さんで被爆ピアノの音色を分かち合いましょう」の言葉ではじまった「国際平和デー会議」コンサートにて演奏されました。現在、日本全国を巡回して、その音色を響かせています。

賀川記念館イベントのお知らせ

チャリティーコンサート
被爆ピアノの平和の音色

Piano 山路洋子

ピアノの発達と大作曲家　～バッハからシューベルトまで～

日時：2012 年
1月21日（土）14:00～
途中コーヒーブレイク有り

会場：賀川記念館（4F）メモリアルホール
料金：1000 円

総合研究所プログラム

「現代社会とキリスト教 」

講師 **木原活信** 同志社大学社会学部教授

2012 年 1 月 14 日（土） 14 時より

無縁社会のなかで孤立する人々、失業、貧困に喘ぐ人々、自殺者年間 3 万人。そのような深刻な社会問題に直面するただ中に、更に追い打ちをかけるあの大震災。揺れる国土、迷走する政治、停滞する経済、そして混迷する福祉。ところで、2000 年前に、生きる意味を喪失して絶望の内に座していた男に、「ナザレのイエスによって歩きなさい」と呼びかけたペテロの不思議な言葉に、現代が失っている真の希望と福祉の源泉を探ってみたい。その根源的な問いから、現代の日本の混迷する社会に対してキリスト教の福音の意味を今敢えて問い直してみたい。

1/14

「エネルギー消費者から生産者へ」

講師 **古谷桂信** 環境ジャーナリスト

2012 年 1 月 29 日（日） 15時より

賀川記念館総合研究所が主催する循環セミナーは、第 1 回：絵本で学ぶ「海と空の水まわり」、第 2 回：漁が語る海の実情「瀬戸内からの警告」、第 3 回：「神戸の暮らしと六甲山の森林保全」と開催してきましたが、次回は小水力、地熱、太陽光、風、など自然エネルギーがテーマです。

そして市民自らがつくりだす地域エネルギーの可能性を学びます。

1/29

ボランティア vol. 97
賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL HALL
Jesus band
社会福祉法人・学校法人 イエス団

発行日　2011 年 12 月 20 日
発行者　賀川督明
発行所　賀川記念館
〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通 5-2-20
tel：078-221-3627　　fax：078-221-0810
ホームページ　http://core100.net
お問い合わせ E-mail　office@core100.net